



# ナ・デックスレポート

## 第70期 報告書

2019年5月1日～2020年4月30日

証券コード：7435



## ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、平素より当社事業へのご理解とともに厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症に罹患されたみなさま、ならびに関係者のみなさまに心よりお見舞い申し上げますとともに、医療従事者をはじめ感染拡大防止に向けて最前線で日夜奮闘されているみなさまに心からの敬意を表します。

ここに当社第70期(2019年5月1日から2020年4月30日まで)の営業状況を報告させていただきます。ご一読のほどお願い申し上げます。

代表取締役社長 **高田 寿之**

## 経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、輸出を中心に弱さが見られるものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで緩やかな回復基調で推移してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大に伴い急激な悪化が続いております。世界経済につきましても、米国を中心に全体としては緩やかな回復基調で推

移してまいりましたが、米中貿易摩擦の動向や新型コロナウイルス感染症の拡大など、景気の先行きは不透明感が増し厳しい状況で推移しております。

当社グループの主要得意先である自動車関連企業につきましても、設備投資について慎重な姿勢が見られるものの比較的堅調に推移してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により年度末には世界規模で減産になるなど、先行きは不透明な状況であります。

このような経済環境のもとで当社グループは、2021

年4月期を最終年度として策定いたしました中期経営計画に基づき、当社グループが保有する各事業の連携によるトータルソリューションの提供、コアコンピタンスである接合ソリューションの深化による新ユーザー層に向けての多角的な展開、グローバル展開のための製品力強化などに取組み、市場のニーズに先行ないし同期する形で事業基盤の強化に取り組んでおります。これらの取組みの一環として、レーザーに関する生産設備の設計・製作において高い技術力を有する株式会社タマリ工業の株式を取得し、同社の子会社である株式会社シンテックおよび株式会社テクノシステムとあわせてグループ体制の強化を図っております。これまで当社グループが培ってきた各事業とのシナジー効果が見込まれ、有機的な連携を図ることで顧客への提供価

値を向上し、トータルソリューションを提供できる体制の構築を一層加速させております。

(当連結会計年度の経営成績につきましては、3ページ以降をご覧ください。)

なお、2021年4月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが立っておらず、お客さまの設備投資などの動向が不透明な状況の中、現時点で合理的な業績予想の算定は困難であることから未定とさせていただきます。今後、業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

株主のみなさまにおかれましては、当社事業のさらなる発展にご期待いただき、これからも長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 「Private Show」への株主さまご招待の中止のお知らせ

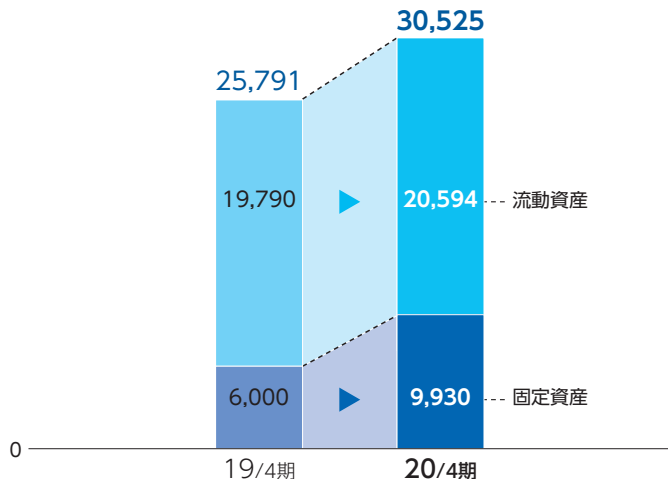
当社ではこれまで例年、当社技術センター(北名古屋市)で開催しておりますPrivate Showへ株主のみなさまをご招待いたしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、今年はこちらをご招待を中止させていただくことといたしました。

楽しみにしていただいていた株主のみなさまには大変申し訳ございませんが、みなさまの健康を最優先した結果の判断でございますので何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

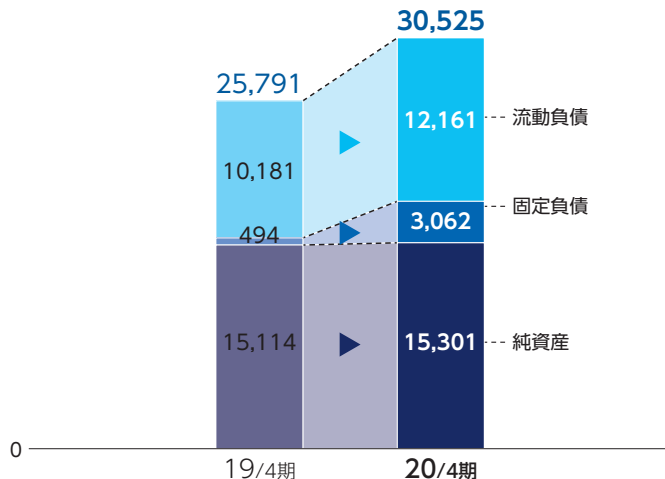
なお、来年以降のPrivate Showへのご招待の実施の有無については現在未定でございます。再度ご招待を行う際には改めて通知させていただきます。

## 連結貸借対照表(要約) (単位: 百万円)

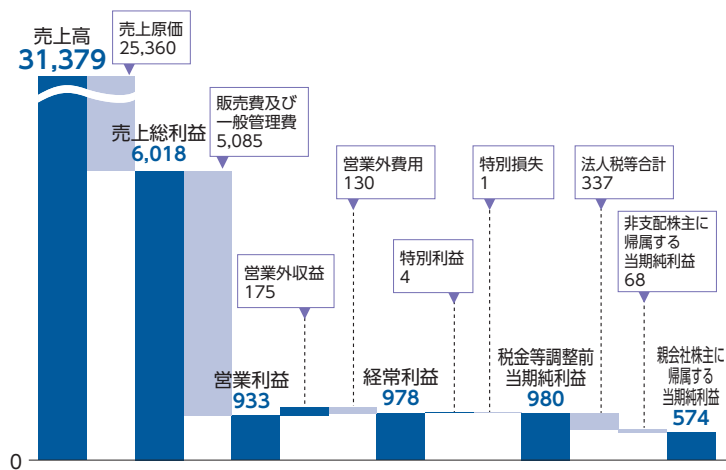
### 資産の部



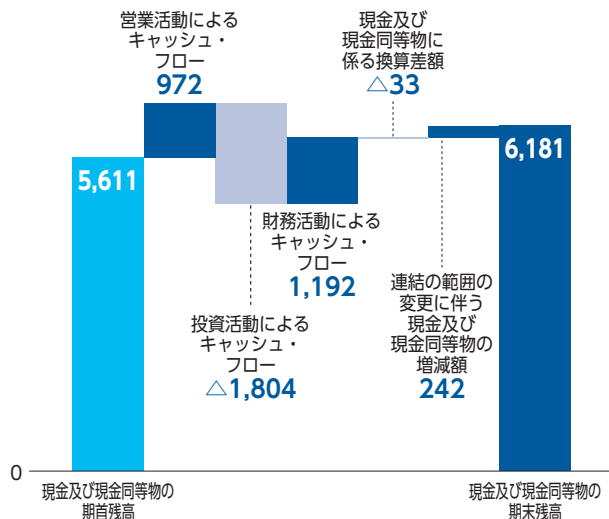
### 負債・純資産の部



## 連結損益計算書(要約) (単位: 百万円)

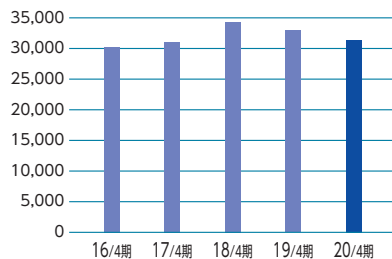


## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約) (単位: 百万円)



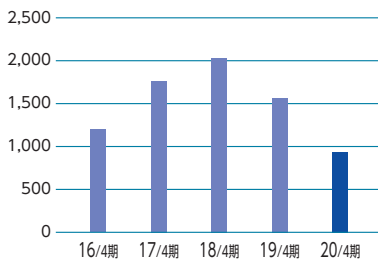
## 売上高

(単位：百万円)



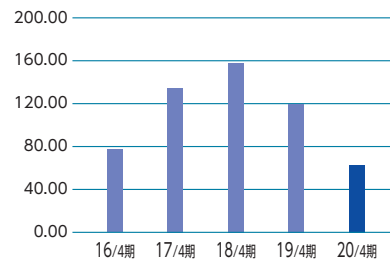
## 営業利益

(単位：百万円)



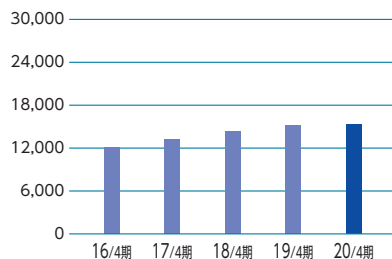
## 1株当たり当期純利益

(単位：円)



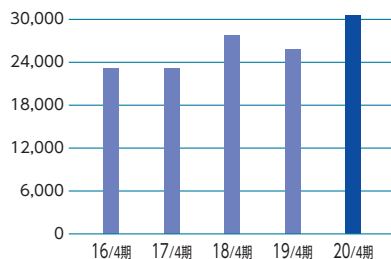
## 純資産

(単位：百万円)



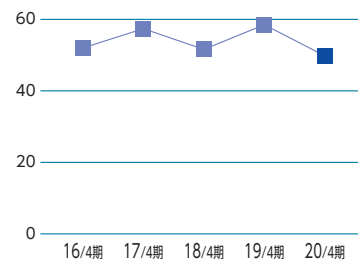
## 総資産

(単位：百万円)



## 自己資本比率

(単位：%)



## 株主還元方針に関する考え方

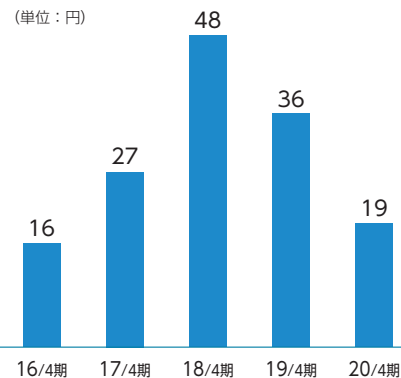
当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要な課題のひとつと考えており、1株当たり配当金の年10円を堅持しつつ、連結配当性向を30%以上としております。

当事業年度の配当金につきましては、上記基本方針をふまえ、1株につき19円(うち中間配当10円)の配当とさせていただきます。

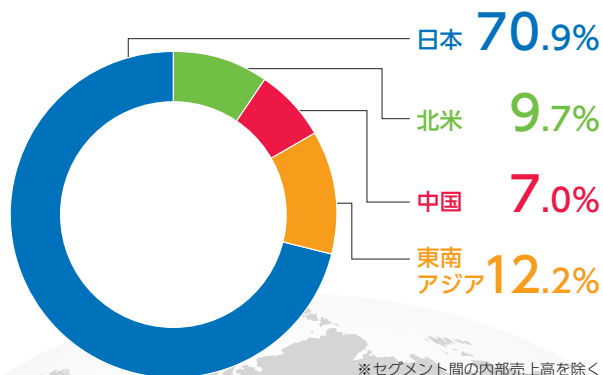
翌事業年度の配当金につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

## 配当金の推移

(単位：円)

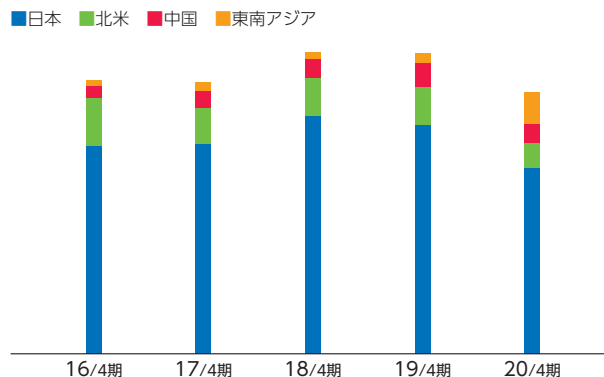


## 地域別売上高構成比



※セグメント間の内部売上高を除く

## 地域別売上高推移



### 日本

売上高 235.8億円  
営業利益 3.7億円

日本につきましては、自動車関連企業向け自社製品の販売が減少および前年には非自動車関連企業向け生産設備の大型案件があったことなどにより、売上高は235億8千3百万円と前連結会計年度に比べ38億8千1百万円(△14.1%)の減収となり、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、M&A費用の計上および前期に実施した設備投資に伴う減価償却費の増加があったことなどにより、営業利益は3億7千2百万円と前連結会計年度に比べ5億1千万円(△57.8%)の減益となりました。

### 北米

売上高 31.1億円  
営業利益 1.8億円

北米につきましては、自動車関連企業向けの生産設備および自社製品の販売が減少したことなどにより、売上高は31億1千1百万円と前連結会計年度に比べ14億7百万円(△31.1%)の減収となり、営業利益は1億8千7百万円と前連結会計年度に比べ2億7百万円(△52.4%)の減益となりました。

### 中国

売上高 22.7億円  
営業利益 0.7億円

中国につきましては、自動車関連企業向け自社製品の販売が減少したことなどにより、売上高は22億7千8百万円と前連結会計年度に比べ5億7千3百万円(△20.1%)の減収となり、営業利益は7千7百万円と前連結会計年度に比べ6千2百万円(△44.3%)の減益となりました。

### 東南アジア

売上高 38.3億円  
営業利益 2.5億円

東南アジアにつきましては、前年に引続き自動車関連企業向け設備の据付を確保できたことなどにより、売上高は38億3千9百万円と前連結会計年度に比べ25億6千2百万円(200.6%)の増収となり、営業利益は2億5千1百万円と前連結会計年度に比べ1億2千4百万円(97.5%)の増益となりました。

# 会社・株式情報

(2020年4月30日現在)

## 会社概要

商号	株式会社ナ・デックス (英文名/NADEX CO.,LTD.)
本店所在地	名古屋市中区古渡町9番27号 TEL (052) 323-2211
設立	1950年10月
資本金	1,028,078千円
従業員数	788名(連結)、219名(単体)

## 役員 (2020年7月28日現在)

代表取締役社長	高田 寿之
専務取締役	渡邊 修
常務取締役	古川 雅隆
取締役	横地 克典
取締役	進藤 大資
取締役	本田 信之
取締役	野口 葉子
常任監査役(常勤)	武田 吉保
監査役	市原 裕也
監査役	仙田 正典

(注1) 取締役野口葉子氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
(注2) 監査役市原裕也氏および仙田正典氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## 拠点

**国内**  
株式会社ナ・デックス(名古屋市中区)  
技術センター(愛知県北名古屋)  
株式会社ナ・デックスプロダクツ(岐阜県可児市)  
ナ・デックスレーザR&Dセンター(福井県敦賀市)  
株式会社タマリ工業(愛知県西尾市)  
イシコテック株式会社(兵庫県尼崎市)  
株式会社シンテック(新潟市北区)  
株式会社テクノシステム(浜松市南区)

**海外**  
NADEX OF AMERICA CORP. (米国 デラウェア州)  
WELDING TECHNOLOGY CORP. (米国 ミシガン州)  
NADEX MEXICANA, S.A. de C.V. (メキシコ ケタラコ)  
那電久寿機器(上海)有限公司(中国 上海市)  
NADEX ENGINEERING CO.,LTD. (タイ バンコク)  
NADEX (THAILAND) CO.,LTD. (タイ バンコク)  
PT. NADESCO INDONESIA (インドネシア チカラン)  
PT. NADESCO ENGINEERING INDONESIA (インドネシア チカラン)

## 株式の状況

発行可能株式総数	40,125,000株
発行済株式の総数	9,605,800株 (自己株式348,571株を含む)
株主数	1,593名

## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社アート・ギャラリー富士見	1,400,000	15.12
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	781,700	8.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	327,100	3.53
古川 美智子	285,600	3.08
光通信株式会社	261,600	2.82
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	235,800	2.54
古川 佳明	222,000	2.39
ナ・デックス社員持株会	219,500	2.37
古川 雅隆	216,791	2.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	171,600	1.85

(注) 持株比率は、自己株式(348,571株)を除く発行済株式総数に対する持株数の割合であります。



ナ・デックス 本社



ナ・デックス  
技術センター



ナ・デックス  
プロダクツ



WELDING TECHNOLOGY  
CORP.



那電久寿機器(上海)  
有限公司



NADEX ENGINEERING  
CO.,LTD.

事業年度	5月1日～翌年4月30日
期末配当金受領株主確定日	4月30日
中間配当金受領株主確定日	10月31日
定時株主総会	毎年7月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品取引所	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)
公告掲載方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	<a href="http://www.nadex.co.jp/">http://www.nadex.co.jp/</a>
単元株式数	100株
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

## ご注意

- (1) 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IR情報につきましては、当社のホームページにも掲載されておりますので、ご覧ください。

<http://www.nadex.co.jp/>

## 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

■ マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先は、下記の通りです。

ご所有株式の口座区分	お問い合わせ先
証券口座	口座を開設されている証券会社等
特別口座 (証券会社等で当社株式を ご所有されていない株主さま)	三菱UFJ信託銀行株式会社 連絡先:三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

